

肥のあすか

温州みかん

販売予定
平成22年
11月上旬から

『肥のあすか』は、平成16年に品種登録された早生みかんの新品種。現在、販売開始を予定している平成22年産の出荷に向けて、苗木の育成中。旬を迎える11月に販売が予定されている熊本県のオリジナル品種です。「熊本県果樹研究会」の松本哲海温州みかん部部长は、「今までにないコクのあるミカンです」と話します。

平成22年産から販売開始。

「今までにない、コクのある食味」

平成22年産から販売開始を予定している『肥のあすか』。糖ののりがいい肥後早生とミネオラの交配で育成された品種です。販売は、『肥のあけぼの』からリレーする形でスタート。11月上旬から出荷を開始する予定です。

最大の魅力は、糖度とクエン酸のバランスのよさ。既存の早生品種との比較では、糖度は同程度であるのに対してクエン酸が低く、試食をした生産者からは「今までにない深いコクを感じさせる食味」と絶賛されています。また、軟らかなじょうのう膜(果実袋)も特性の一つ。出荷時には、光センサーによる品質基準を設け、品質の安定にも力を入れる予定です。市場からの注目を集める新品种として期待されています。

